

観光危機管理シンポジウム

オンライン開催

年始早々、能登半島地震や羽田空港での航空機衝突事故が発生し、その後は架線事故による新幹線ストップ、関東甲信での大雪の影響による高速道路の通行止めや鉄道の運休など、観光客や観光産業に大きな影響や被害をもたらす事象が多く発生しております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を経験した後、昨今はインバウンドが順調に回復し、2025年の大阪・関西万博の開催など、今後とも多くの外国人旅行者が日本を訪れることが想定されますが、発災時には多言語での情報提供や帰国支援など具体的な対応が求められます。

そこで、観光庁では観光危機管理計画等の策定を推進することを目的としたシンポジウムを開催いたします。観光危機管理に関心のある地方公共団体、観光関連団体・事業者は是非お気軽にご参加ください。

日時

2024年3月7日(木)
14:00～17:00

対象

地方公共団体
観光関連団体・事業者 等

開催方法

オンライン(V-CUBE)

※参加無料、PC・スマホ等のブラウザで視聴可能

定員

500 団体（先着）

注：オンラインでの申込に対し、視聴URLの案内メールをお送りします。

注：視聴URLを共有し、複数人で接続した場合でも、1接続のみしか視聴できませんのでご注意ください。

プログラム

1. 主催者挨拶（観光庁 参事官（外客受入） 濱本健司 氏）
2. 基調講演：「観光危機管理」の重要性、必要性の理解
講師：観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏
3. 事例紹介1：地方公共団体等における観光危機管理施策・取組
4. 事例紹介2：民間事業者の観光危機管理関連サービス・取組
5. パネルディスカッション
～ 観光危機管理施策に関する情報交換、質疑応答
話題提供：ワークショップ参加地区
～仙台市、南魚沼市、熱海市
6. まとめ
・観光危機管理計画等の「手引き」「ワークシート」の紹介
・国連世界観光機関（UNTourism）駐日事務所からメッセージ

【事例紹介1：地方公共団体等】

- 安心安全な観光地づくり「観光
沖縄県 → 危機管理への取り組みについて」
富士五湖
観光連盟 → 民間観光関連団体の主導による
観光危機管理マニュアルの策定

【事例紹介2：民間事業者】

- ・アールシーソリューション株式会社
→ Safety tips
- ・一般社団法人LINKED CITYコンソーシアム
→ デジタルサイネージ等での避難誘導支援
- ・一般社団法人日本旅行業協会
→ 観光産業共通プラットフォーム

講師・進行の紹介



観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人 氏

1982年、株式会社日本交通公社（現JTB）入社。株式会社ツーリズム・マーケティング研究所代表取締役社長、JTB総合研究所常務取締役を経て、2020年より現職。

日本における観光危機管理の第一人者として国内外の観光危機管理や観光復興関係業務に数多く関わる。

国連防災機関（UNDRR）の民間ネットワークARISEの日本代表。

観光庁持続可能な観光推進事業アドバイザー、APTECサステイナブルツーリズム委員等、持続可能な観光の推進にも携わる。

お申込み方法

下記のURLよりお申込みください。

<https://en.surece.co.jp/kankokiki2024/>



QRコードからの申込も可能です。

申込〆切 3月5日（火）